

も り

森林のたより

第42回全国育樹祭にブース出展をしました。



ブースには多くの方にご来場いただきました

11月18日(日)東京・調布市にある武蔵野の森総合スポーツプラザにおいて、第42回全国育樹祭が開催されました。

当署は、関東森林管理局、東京事務所、高尾森林ふれあい推進センターと合同で「TOKYOおもてなしコーナー」へブースを出展し、式典へ参加される方々へ国有林の取り組みなどを紹介しました。



ブースには、国有林の取り組み事例を紹介したパネルやコンテナ苗の展示、サンショウの輪切りを用いたクラフトづくり、樹木名の漢字クイズ、ヒノキの香り袋の配布などを行いました。

来場者から特に人気があったのが、樹木名の漢字クイズ！杉(スギ)や檜(ヒノキ)といった馴染みのある漢字から、椈(モミ)や榎(サワラ)といった難しい漢字まで計100種類が書かれたパネルの前は、多くの人で賑わいました。



吉川農林水産大臣(左から3人目)へコンテナ苗を説明する牧元林野庁長官、齋藤関東森林管理局長



木の漢字クイズは予想以上(?)の大盛況でした。

また、近年取り組みが始まった低コスト造林のキーアイテムであるコンテナ苗の展示を行ったところ、吉川農林水産大臣も立ち寄っていただき、熱心にご覧になっていました。また、他の来場者からも裸苗との価格差や生長スピードの違いなどについて、多くの質問がありました。

来年の全国育樹祭は沖縄県、再来年は北海道で行われます。森林や林業に興味をお持ちの方はぜひ、参加をしてみてくださいいかがでしょうか。

(@へう)

